

会議名	第2回厚木市観光振興推進委員会
日時	平成30年10月15日(月)14時～15時30分
場所	厚木市役所本庁舎3階 特別会議室
出席者	出席者 13人 厚木市観光振興推進委員会委員8人 事務局4人(産業振興部長、観光振興課長、観光振興係長、観光振興課主事) オブザーバー1人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長)

会議の経過は次のとおり。

1 開 会 観光振興課長

2 挨拶 観光振興推進委員会委員長

1箇月前までは気温も高く、猛暑が続いていたが、ここ最近でだいぶ涼しくなった。また、台風24号の影響で、市内のハイキングコースにたくさんの倒木があったと聞いたが、すでに観光振興課で対応したとのこと。天候は観光と密接に関係している。前回の会議で、学生の意見に厚木のイメージは「濃い」という話をしたが、その時の意見があつぎ鮎まつりのTシャツのキャッチコピーに「濃いまち・来いまち・恋のまち厚木」と採用され、とても感謝している。また、委員の皆様にも、松蔭大学の学生3人が、厚木の観光について勉強させていただき感謝している。それでは、本日も、厚木の観光についてさまざまな角度から委員の皆さんの意見を伺いたい。

3 案 件

(1) 厚木市観光振興条例の点検について 議事進行：委員長 説明：事務局  
資料1に基づき説明。

【意見等】

(委員長) 厚木市観光振興条例の点検について、事務局から説明があつたが、観光振興条例の条文などに見直しの必要があるか、各委員から意見をお願いしたい。

意見等なし

(委員長) 特に意見等がないため、条文などの見直しの必要はないと、委員会から回答する。

(2) 平成30年度事業の実施状況について 議事進行：委員長 説明：事務局、オブザーバー  
資料2に基づき説明。

【意見等】

(委員長) 平成30年度事業の実施状況について、事務局から説明があつた。あつぎ鮎まつり大花火大会は県下最大級の花火大会であるが、学生に尋ねたところ、厚木で花火大会を開催しているのは知っていても、規模が大きいという認識がなくとても残念に思ったので、規模の大きさをもっとPRして頂きたい。また、オブザーバーから説明のあつた24ページで構成される観光ガイドブックに期待している。各委員から意見や感想をお願いしたい。

(委員) インバウンド推進事業の補助金について、外国語パンフレット事業を申請している

が、外国人観光客がたくさん来ているなどの実例はなく、外国人観光客を取り込むために、イベント配布用で作成した。

(委員長) 市外へのPRはとても重要だと思う。補助金については今年度まだ申請があると思うので他の事業にも期待したい。あつぎ鮎まつりの花火大会時の交通状況などはどうであったか。

(委員) 市の協力もあり、無事に事故もなく終えられた。今年は、当日に従事する駅員の人数が減り、その中でお客様の安全を確保するため、各部署が連携し、例年と遜色なく実施できたことが良かったと思う。また、来場される方も、駅の混雑を回避するように行動されていた。

(委員長) 資料にはないが、サイクルラック設置事業について、意見や感想などないか。

(委員) サイクリストのお客様が多く、サイクルラックを置いてほしいという要望は多い。しかしながら防犯上の問題も多く、設置に踏み込めない点もある。

(委員長) 神奈川中央交通で実施している自転車ラックバスについてはどうか。

(委員) 自転車ラックバスは実施しているが、利用者は多くない。

(委員長) 利用者は多くないとのことだが、サイクリストのための事業を行っていることが重要でありPRにつながる。

(3) 平成31年度事業について 議事進行：委員長 説明：事務局  
資料3に基づき説明。

**【意見等】**

(委員長) 案件(4) 観光振興に係る意見交換についても、併せて意見等お伺いしたいと思う。

(4) 観光振興に係る意見交換について 議事進行：委員長

**【意見等】 案件(3)と併せて**

(委員長) フィルムコミッション事業についてだが、今年はさまざまなドラマに、厚木とわかるロケーションが登場していた。市民にとって、日頃目の当たりになっている光景がテレビに登場すると、とても嬉しくなると思う。予算自体はないが、地域のPRにつながるので、すべての依頼を受けるのは難しいと思うが、可能な限りにロケ協力をお願いしたい。その他、各委員から意見や感想をお願いしたい。

(委員) 外国の方が厚木に様々な目的で来ていると思うが、主に観光で来ている外国人に対しどのような交通手段を想定しているのか。先日、ヨーロッパに行った際に感じたが、自転車専用道路やサイクルラックの整備が進んでいる。バスや電車などの公共交通機関も自転車を持ち込んでの移動が認められている。外国人向けに自転車を活用してはどうか。

(委員長) 市内にも自転車用道路が整備されている場所もあるが一部に限られている。道が狭くなかなか整備は難しいと思うが、外国人向けに自転車を活用したPRはいいと思う。自転車を電車に乗せている方もたまに見かけるが。

(委員) 小田急では自転車を折りたたみ、自転車バッグに入れていただけないと移動はできない。

(委員長) 自転車を活用したツアーなどから始めて外国の方に厚木を認識してもらうのはどうか。バスの利用はどうか。

(委員) 大山などに向かう路線に外国人観光客はいるが、全体的に外国人観光客と思われるバス利用者はそんなに多くないと感じる。

(委員長) 外国人観光客の多い高尾山のように、麓まで電車が通っていて、山頂途中までケーブルカーが通っていれば第2の高尾山のようになれるのではないかと思う。

(委員) 飯山で一時的に観光案内所を中飯山自治会館で開設しているが、先日、横浜在住のカナダ人が来られた。七沢まで車で来たらしいが、ハイキングの途中、間違っって巡礼峠を通過して飯山に降りてきてしまった。首都圏に住んでいる外国人のためにも、ハイキングコースなども外国人に向けた整備が必要かもしれない。観光ボランティアで活動しているが、サイクリストがとても増えたと感じる。

(委員長) サイクリストが増えるのはとてもいいことだが、やはり標識や道路の整備なども同時に進め、安全面の配慮も必要と考える。自動車やバスとの共存を考え、厚木が先進的に自転車の安全な旅づくりを推奨してみてもどうか。

(委員) 飯山も自転車を利用する人は多かったが、ダンプカーなどが通り危険なので減っていると感じる。自転車専用道路などの整備が進み、安全に通行できればサイクリストはより多くなるのではないかと思う。先日、谷中銀座商店街に行ったとき、立ち飲み屋に外国人観光客が多かったが、ほかの飲食店は閑散としていた。外国人観光客のマナーの問題もあるので、厚木はこうなってほしくない。外国人観光客のターゲットを絞ってほしい。

(委員) 台風の影響で関西国際空港が封鎖されたときに、外国人観光客にターゲットを絞っていた商店街が閑散とした。インバウンドを誘客するのはいいが、日本人観光客とのバランスが重要。サイクリストにも同様の事が言える。

(委員長) インバウンドの誘客について、とりあえず誘客するというのではなく、ターゲットを定めて、厚木に来て良かったと思えるような誘客の仕方を考えていきたい。

(委員) 消費税の関係でテイクアウトをして外で立ち食いするようなことも考えられる。

(委員) 31年度のあつぎ鮎まつりは例年通りの日程で開催か。また、東京オリンピックの2020年はどうする予定か。

(事務局) 31年度については、例年通りの日程で開催する予定である。東京オリンピックの開催の2020年については、今後、警察等関係機関と調整の上決定する。

4 その他 議事進行：委員長 説明：事務局  
次回会議日程の予定・案件を説明

5 閉 会 観光振興課長